

ご自由に お持ち下さい

# 支援室だより

～北区障害者地域自立生活支援室より～

2003年5月発行

## 開所のご挨拶

北区障害者地域自立生活支援室が開所しました！

NPO（特定非営利活動）法人ピアネット北が、東京都北区から「障害者地域自立生活支援事業」を委託され、「北区に居住する障害のある方々（肢体不自由・知的障害者・聴覚障害者・視覚障害者および重複障害者）の生活を支援することにより、障害者の自立と社会参加の促進を目的とする」事業活動を行います。主な事業内容は次の5つです。

- ・自立生活のための各種相談
- ・各種情報の提供
- ・ピア・カウンセリング
- ・社会参加の支援
- ・専門機関等の紹介

要するに、生活に不安や悩みを抱えている障害者の皆様、より快適な暮らし方を一緒に考えましょう！ということなんです。つつい一人で悩みがちなアナタ、気楽にご相談ください。障害者手帳の有無は問いません。ご本人からはもちろん、ご家族の方からのご相談もお受けします。

### 【相談窓口】

〒114-0032 東京都北区中十条1-12-18 障害者福祉センター1階

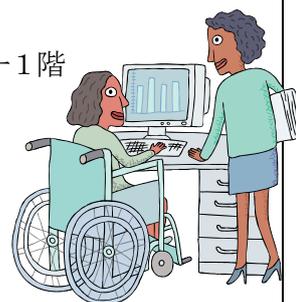
TEL : 03-3905-7225 TEL・FAX 兼用 : 03-3905-7226

E-MAIL : [peernet@ma.kitanet.ne.jp](mailto:peernet@ma.kitanet.ne.jp)

開所日時 : 月～金 10時～19時 土 10時～17時

\*日・祝・年末年始は休み

毎月第2土曜日午後1時～4時に聴覚障害者の方々の相談をお受けします。



## 理事長挨拶

NPO 法人ピアネット北 理事長 井上 良子 (いのうえ よしこ)

昨今の障害者福祉施策は、介護が出来る家族がいる間は自宅で過ごし、その後は施設に入所するのが当たり前のようになっているのが現状で、この傾向は、重度重複の身体障害者になると顕著です。なぜ障害があるというだけで、生まれ育った地域で生活することさえままならないのでしょうか。

私たちはどんなに重い障害を持っていても、安心して楽しく生活できる地域づくりのために、行政担当者、各団体とのパートナーシップを大切に活動していきたいと思っておりますので、皆様ご協力お願いいたします。

NPO (特定非営利活動) 法人ピアネット北とは・・・

ピアネット北は、1998年の創立以来、肢体不自由、知的障害、聴覚障害、視覚障害、精神障害といった障害種別の枠を越え、障害当事者や家族、施設関係者が運営している市民グループです。平成15年4月より北区から障害者地域自立生活支援事業の運営を受託しています。

## 事業説明

支援室だよりでは、毎号少しずつ、北区障害者地域自立生活支援室の事業について説明します。今回は「ピア・カウンセリング」と「各種情報提供」について説明します。

### ・ピア・カウンセリングとは

ピア (PEER) とは英語で「仲間」という意味です。ピア・カウンセリングとは、同じような障害やよく似た背景を持つ者同士が、対等な関係で日常生活の悩み等に応じ、問題解決に向けたサポートを行うことです。北区障害者地域自立生活支援室では、障害者の皆様の不安や悩みの相談に、同じような障害を持つ相談者が応じることで問題解決を目指します。視覚障害と肢体不自由の職員が、日々ピア・カウンセリングの勉強をしてピア・カウンセラーを目指すと同時に、北区在住のピア・カウンセラーの方々にご登録いただき、随時ピア・カウンセリングを行えるようにしていく予定です。

ご相談いただいた方のご意思やプライバシーを尊重し、秘密厳守をお約束します。

### ・各種情報提供

北区障害者地域自立生活支援室では、障害者の皆様が快適な生活を送るために必要な、さまざまな情報を提供します。区役所の福祉窓口で得られる情報はもちろんのこと、例えば毎年10月に東京ビッグサイトで開催される「国際福祉機器展」(今年は10月15日～17日の予定) に出品された各メーカーの福祉機器のパンフレットを集めたり、「便利グッズ」関連の書籍を購入したりと、障害者の皆様からのお問い合わせに応じられるよう、準備しています。

なお、6月22日(日)に北区障害者地域自立生活支援室の主催により、障害者福祉センター1階で「ミニ福祉機器展」を開催します。福祉機器に関心のある方でしたら、障害の有無は問いません。皆様、ぜひ「ちょっと、のぞきに」いらしてください。

## 職員紹介

室長：谷内 孝行（たにうち たかゆき） 社会福祉士・鍼灸マッサージ師

視覚障害者（弱視）です。中学時代を除く学生時代を盲学校で過ごしました。この4月より、ご縁があり学生時代を過ごした北区に戻ってきました。ピアネット北の前身である「みんなでつくろう北区障害者計画実行委員会」では発足当初から参加させていただき、障害当事者や福祉関係者の方々から、多くの刺激を受けました。行政と障害当事者によるコラボレーションを通し北区における新たなスタイルの福祉活動を展開したいと考えております。お近くにお越しの際は、是非、お顔をお見せください。



常勤職員：吉田 泰子（よしだ やすこ）

約6年前に小学校の心障学級で介助員として勤務したときに初めて障害児・者と関わりました。関わった子ども達が、この先どう生きていくのかが知りたいという理由から福祉に関心を持ち始めました。以来、様々なボランティア活動に関わるようになり、気づいたときには……。このたび「北区障害者地域自立支援室」の職員として働かせていただくのにあたり、本格的に学校に通い福祉の勉強をはじめています。自分に何ができるのか未知数ではありますが、職員と協力しあって相談に来てよかったと思っただけの支援室にしていきたいと考えています。お気軽にお越しください。どうぞよろしく申し上げます。

非常勤職員：糊澤 美香（くるみさわ みか）

脊髄損傷による両下肢障害で、松葉杖&手動車椅子を使用しています。発症したのは2才の時ですが、小学校から大学まで普通学校に通っていました。長野県出身で、北区内の大学（当時）に通うため北区に住みはじめ、在住16年になります。北区障害者地域自立生活支援室の開所に当たり、非常勤職員として働かせていただくことになりました。外で働くのは初めてなので、不行き届きな点多々あると思いますが、よろしく申し上げます。これから大勢の障害者の方々と出会えることを楽しみにしています。

非常勤職員：近藤 亜弓（こんどう あゆみ）

脳性麻痺による両下肢障害で、電動車椅子と手動車椅子を使用しています。先天性ですが、小学校、中学校は普通学校に通学していて高校からは養護学校に通っていました。東京都出身です。現在は、板橋区在住ですが、いろいろな方々とのつながりとご縁によりこのたび北区障害者地域自立生活支援室の開所に当たり、非常勤職員として働かせていただくことになりました。ここが初めての職場となるのでまだまだ未熟でいたらないことが多いと思いますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

たくさんの方々との出会いを楽しみにしています。

## これまでの活動・今後の予定

4月11日（金）開所式

北区長・北本正雄氏（当時）、北区議会議長・福田伸樹氏（当時）、他  
多数のご来賓のご出席をたまり、関係各位のご臨席のもと執り行われました。

5月8日～6月5日（毎週木曜日）

C I L・北（所在地・北区東十条）主催のピア・カウンセリング集中講座に  
近藤亜弓が参加中

5月10日（土）聴覚障害者の相談

5月25日（日）～5月27日（火）

C I Lくにたち援助センター（所在地・東京都国立市）主催の  
ピア・カウンセリング集中講座に谷内孝行が参加予定

6月14日（土）聴覚障害者の相談（予定）

6月22日（日）障害者福祉センター1階で「ミニ福祉機器展」を開催

6月29日（日）～7月1日（火）

ハンズ世田谷（所在地・東京都世田谷区）主催のピア・カウンセリング集中講座  
に榎澤美香が参加申込中

7月12日（土）聴覚障害者の相談（予定）

## 編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から初めてのニュースレターをお送りしました。  
経験・知識とも未熟な私たちですが、これから末永くよろしくお願いします。

\* \* \* \* \*

5月5日、埼玉スタジアムに浦和レッズ vs 清水エスパルスの試合を見に行きました。  
車椅子席はメインスタンドとバックスタンドに合計150席ありますが、アウェーの清水  
エスパルスの応援席に近い方は、かなり空いていました。浦和レッズのサポーターに囲ま  
れながら（にらまれながら？）清水エスパルスを車椅子から応援するのも、乙なものです  
よ。皆さんも、ぜひ！（負けちゃったけど……）（くるみ）

